

学校名	狹山市立富士見小学校
本校児童会生徒会は、「さやまっ子の誓い」を 承認します。承認しません。	
本校のいじめ防止に関する実践	
1 児童会めあて	
富士見小学校では、毎年新しい学年が始まると、「どんな学校にしていきたいか」について4年生以上のクラスで話し合い、代表委員会が中心となって、「児童会めあて」を決めています。今年度のめあては、「富士見っ子 笑顔と本気の二刀流」です。「富士見っ子」という言葉には、「富士見小学校1～6学年となかよし学級の友達みんな」という意味が込められています。笑顔には、学校生活が明るく楽しくなる魔法のような力があります。「いろいろな友達がいる富士見小学校全員が、笑顔いっぱい1年間を過ごせるように」「富士見小学校全員が、どんなことにも本気で取り組めるように」という思いで決めためあてです。このめあては、昇降口に掲示してあり、登校する時や校庭へ出るとき、下校する時などに、いつも目に触れるようになっています。	
2 レインボータイム	
富士見小学校では、縦割り班を「レインボー班」と呼んでいます。「レインボータイム」とは、レインボー班で遊ぶ朝の時間のことです。隔週金曜日が「レインボータイム」となっています。6年生がリーダーとなり、低学年も楽しめるような遊びを考え、工夫しながら計画しています。	
また、レインボー班で行う大きな行事に、11月に行っている「ふじみっ子まつり」があります。レインボー班で1つのお店を作り上げ、お店とお客の役割を交替しながら遊んで楽しむ行事です。「どんなお店にしたら、みんなが仲よく楽しめるか」をテーマに、高学年が中心になって取り組みます。お店作りを通して、班の仲間と協力する機会が増え、さらに仲が深まっていきます。今年度のスローガンは、「富士見っ子笑顔と本気の50ー50」でした。「ふじみっ子まつりは笑顔50パーセント、本気も50パーセントで力を合わせて100パーセントの最高の思い出にしたい」という思いを込めました。当日、お店とお客の役割交代の時には、全員で「エビカニクス」の音楽に合わせてダンスを踊ります。この「エビカニタイム」も、ふじみっ子まつりでずっと続いている大切なイベントです。この全校行事で、学年に関係なく協力し、みんなで一緒に楽しむ経験ができ、よい思い出になりました。その後のレインボータイムでは、さらに仲よく遊ぶことができるようになりました。	



3 なかよしキャンペーン

富士見小学校では、友達を大切に、差別のない学校をつくるために、年間2回「なかよしキャンペーン」を行っています。各委員会が工夫をこらし、他の学年の友達と関わり合えるような企画を考えています。今年度は、運動委員会による「とび箱・マット教室」やクリーン委員会による「SDGsに関する放送」などがありました。代表委員会では、「あいさつ運動」と全校レク「OΔ□ゲーム」「こおりおに」を行いました。「あいさつ運動」では、代表委員が登校時に昇降口に立ち、富士見小学校のみんなが1日を気持ちよくスタートできるように、明るいあいさつをしました。休み時間に計画した自由参加の全校レク「OΔ□ゲーム」や「こおりおに」には、たくさんのふじみっ子が参加してくれました。いろいろな学年の友達が一緒に楽しく遊び、交流を深めることができました。



このように、富士見小学校では、全校で仲よくできるような取り組みを行って来ます。普段から、仲よく楽しく学校生活を送ることが、お互いを大切に、いじめを防ぐことにつながると考えています。これからも、相手の立場に立って考えることや、困っている友達がいたらすぐに手助けすることを忘れずに、このような取り組みを続け、「いじめや差別をしない、させない、許さない」学校づくりをしていきたいと思ひます。

狭山市立富士見小学校 代表委員会 6年